12月定例会号

わかやま市議会だより

No.096　令和2年（2020年）2月1日発行

目次

・特集 大好きなまち アイデアを形に! … P2
・12月定例会の概要 … P4
・採決状況 … P5
・一般質問 … P6
・委員会審査の概要 … P10
・議員連盟活動レポートなど … P12

みんなの実験室

特集vol.9

大好きなまち アイデアを形に!

岡﨑大輔さんが取り組んでいる「まちなか実験室こどもラボ」が日本青年会議所が贈る青年版国民栄誉賞「JCI JAPAN TOYP 2019」の会頭特別賞に選ばれました。
今回、受賞のきっかけとなった教室の様子を見学し、お話を伺いました。

楽しいをつくり出す

まちなか実験室こどもラボは、岡﨑さんが子供たちに自分たちのアイデアを形にする楽しさを経験してもらうために開設した教室です。そこでは子供たちがやりたいことを形にするために、どうすればできるのか、自分の考えを伝え、問題点を話し合うことで答えを見つけ出しています。これまで、まちのお店と一緒にオリジナルのカップケーキやおむすびをつくったり、また、プロのカメラマンやライターと一緒に映画や本をつくるなど、やりたいことを形にすることで楽しいをつくり出してきました。

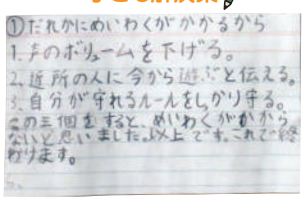
PETERSOX代表
岡﨑 大輔さん
(ミスターおかっち)

寝屋川市出身、和歌山市在住。アメリカでライフスキル教育を学び、平成26年から和歌山市で子供向け、大人向けの教室などを開設。

Q.なんであそぶ時間がないの?

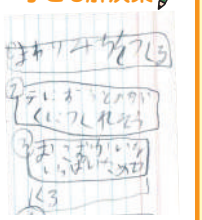
A だれかにめいわくがかかるから

子ども解決策



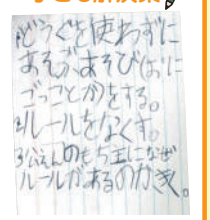
A こうえんが少なくなったから

子ども解決策



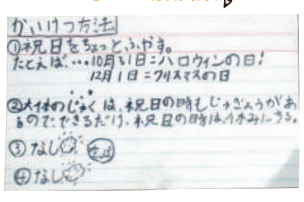
A ルールがきびしくなったから

子ども解決策



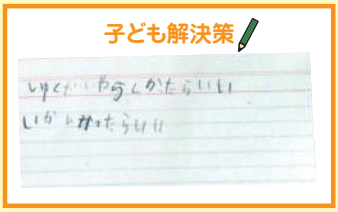
A 時間せいげんがあるから

子ども解決策



A しゅくだいやならいごとがあるから

子ども解決策



岡崎さんは、子供たちに考える力、伝える力、そして何よりもアイデアを形にするために仮説を立てて実験する、失敗を恐れない心を身に付けてほしいと言います。

遊ぶ時間を増やしたい

今日のテーマは「子供の遊ぶ時間を増やしたい」です。遊ぶ時間が増えるとどうなるのか、なぜ遊ぶ時間がないのかを考える子供たち。グループで話し合い、意見をまとめ、みんなの前でプレゼンテーションを行います。遊ぶ時間が増えると「嫌な時間が少なくなる」「友達が増える」、遊ぶ時間がない理由は「誰かに迷惑がかかる」「宿題や習い事がある」などの意見が出ました。次は、それらの意見を更に掘り下げ、誰かに迷惑がかからないように遊ぶにはどうしたらいいのか、宿題や習い事があっても遊ぶにはどうしたらいいのかなどについて考えを深めていきます。

自分たちでテーマを決め、考える。新たな課題を見つける。解決方法を考え、実験する。この繰り返しがまちなか実験室こどもラボです。

全ては自分事として

最初は教室に入ることもできなかった子供が、今はリーダー的な存在となっています。「楽しい」を見つけ、自分たちでもできるという経験が子供たちの自信となり、成長につながっています。

大好きなまち和歌山市。まちを歩き、まちを知ることで興味と関心が芽生え、ひと事であったまちが自分事のように感じられます。まちを自分事として見つめ直したときに、私たちは一体何ができるのだろうか。その答えが、住みよいまちづくりへの第一歩なのかもしれません。

本市では、SDGs(※)未来都市として持続可能なまちづくりに取り組んでいます。今あるものを生かし、その価値を更に高めることで、持続可能な社会を目指しています。将来を担う子供たちがまちや地域の課題を自分事として考え、成長したときに、まちはどのように変わっているのだろうか。和歌山市の将来がとても楽しみです。

編集後記

子供たちの「なぜ」を大切にし、その原因は何かを見つけようとする探求心。これは経験や知識に邪魔されない子供たちの素直な気持ち、純粋な心が成せるものだと感じました。そして、私たち大人が気づかないうちに置き忘れた大切なものを思い出させてくれました。岡崎さんの子供たちに対する熱い思い、それを受け止めようとする子供たち。和歌山市の将来に夢と希望を感じた取材となりました。

特集担当:西風章世、中村朝人、赤松良寛

※SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする世界共通の17の目標です。

12月定例会の概要

開会

12月2日
・会期の決定（12月2日～12月20日）
・議案説明（報告7件、議案23件（補正予算案3件、条例案12件、その他8件））

一般質問等

12月4日
・堀 良子議員、中庄谷孝次郎議員、坂口多美子議員

12月5日
・森下佐知子議員、西風章世議員、中村朝人議員

12月6日
・吉本昌純議員、井本有一議員、山本忠相議員

12月9日
・古川祐典議員、姫田高宏議員、尾﨑方哉議員

12月10日
・山本宏一議員、遠藤富士雄議員
（P6～P9に概要掲載）
・議案等の委員会付託

常任委員会

12月11日～16日
・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

12月17日
・各常任委員会で議案について、討論及び採決並びに請願の審査（P10～P11に概要掲載）

特別委員会

12月18日
・地震等災害対策特別委員会

閉会

12月20日
・各常任委員会の委員長報告
・反対討論（山野議員、井本議員）、採決
・公営企業決算特別委員会（令和元年9月定例市議会議案）の委員長報告
・反対討論（森下議員）、採決
・決算特別委員会（令和元年9月定例市議会議案）の委員長報告
・反対討論（南畑議員）、採決
・追加議案の説明（人事案件5件）、採決
・議員発議（意見書案2件）
・うち1件反対討論（中村（朝）議員）、賛成討論（中谷議員）、採決

令和元年度予算〈12月補正後〉	
一般会計	1,598億4,342万8千円 （補正額1億6,234万5千円）
特別会計及び公営企業会計	1,414億3,282万円 （補正額14億2,695万2千円）
合 計	3,012億7,624万8千円

補正予算の概要

一般会計では、四季の郷公園のエントランス広場や小川の水景などの改修事業、有吉佐和子邸の復元に向けた市駅前原動機付自転車駐車場の解体撤去工事、台風10号の被害による農業施設や林道、漁港の復旧などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、中央卸売市場水産棟の建替工事等に要する経費を債務負担行為と併せて計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

議場見学のご案内

和歌山市議会では、市議会をより身近に感じていただくため、議場見学を随時受け付けています。
【対　象　者】どなたでも見学できます。
【見 学 時 間】30分程度
【見 学 場 所】本会議場、委員会室、議会図書室などの議会施設
【見学可能日】平日（土･日･祝日を除く。）　※議会開会中は見学できません。
ご希望の方は、議事調査課（☎435-1120）までご連絡ください。

12月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」と表記しています。
なお、議長は通常、採決に加わらないため「／」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	公明党議員団									自由民主党市議団											政和クラブ							日本共産党議員団							民主クラブ							和歌山興志クラブ							日本維新の会	
			堀	西風	園内	中塚	藪	奥山	中尾	松本		中村	中谷	丹羽	井上	古川	宇治田清治	遠藤富士雄					芝本	戸田	松井	北野	佐伯	山本		井本	中村	森下佐知子	坂口多美子	姫田	南畑		山中	川端	永野	山本	寒川		赤松	浜田	吉本	尾崎		中庄谷孝次郎	山野麻衣子	
			良子	章世	浩樹	隆	浩昭	昭博	友紀	哲郎		元彦	謙二	直子	直樹	祐典	治	雄					和己	正人	紀博	均	誠章	宏一		有一	朝人	知子	美子	高宏	幸代		敏生	康史	裕久	忠相	篤		良寛	真輔	昌純	方哉				
議1	令和元年度和歌山市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議2	令和元年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議3	令和元年度和歌山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		×	×	
議4	和歌山市職員給与条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		×	×	
議5	和歌山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		×	×	
議6	和歌山市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		×	×	
議7	和歌山市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議8	和歌山市霊きゆう自動車使用条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議9	和歌山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議10	和歌山市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係る地域生活支援事業に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議11	和歌山市児童福祉法に係る費用に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議12	和歌山城ホール条例の制定	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議13	和歌山市営住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議14	和歌山都市計画事業東和歌山第二地区土地区画整理事業施行条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議15	和歌山市排水設備等指定工事店条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議16 議17	市道路線認定・変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議18	損害賠償の額を定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議19 議20	公有水面埋立ての免許出願に対する意見	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議21	指定管理者の指定（和歌山市西庄ふれあいの郷）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議22	指定管理者の指定（和歌山市立旭学園）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議23	指定管理者の指定（和歌山城天守閣・和歌山城公園駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議29 ～31 (9月)	平成30年度和歌山市水道事業・工業用水道事業・下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
認1 ～18 (9月)	平成30年度和歌山市各会計決算（公営企業会計、一般会計、各特別会計決算）の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
議24 議25	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
諮1 ～3	人権擁護委員候補者の推薦	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
発議1	防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業の期間延長を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
発議2	日台交流基本法の制定を求める意見書案	可決	－	－	－	－	－	－	－	－		○	○	○	／	○	欠	○					○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	

※請願第3号については、所管の常任委員会にて、閉会中の継続審査に決したため、一覧に掲載しておりません。

ピックアップ PickUp! **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。

録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

公明党議員団

堀 良子（ほり よしこ）

地域住民が主体となった自主グループへの支援

問 高齢者の健康寿命を延伸するため、自主グループが地域において通いの場をつくり、健康体操などを行っている。今後も継続して力を発揮してもらえるよう、主体者へのインセンティブが必要だと考える。この健康体操についても、介護施設等でのボランティア活動にポイントを付与する「つれもてサポート事業」の対象にすれば、主体者の励みになると思うがどうか。

答 自主グループで活動されている方々には、何らかのインセンティブがあれば、継続支援にもつながると考えるので、ポイント付加事業も含め、表彰など、活動している方の意欲が出るような施策を検討していく。

今すぐできるフレイル対策

WAKAYAMAつれもて健康体操

問 健康状態と要介護状態の中間にあるフレイルへの今すぐに取り掛かれる対策として、自主グループが行っている憩いの場や地域包括支援センターとの交流会など、今ある機会を大いに活用するため、自主グループの活動にフレイル対策を盛り込んではどうか。

答 自主グループの活動場所に通い体操することは、フレイル対策につながっているが、より健康な状態が維持できるよう、各グループの活動時にフレイルに関するパンフレットを配布し、情報提供を行う。また、栄養摂取や口腔ケア等、フレイル対策に関する研修会の実施を検討していく。

西風 章世（にしかぜ あきよ）

ひきこもり8050（はちまるごーまる）問題

問 ひきこもりの長期化により、80代の親が50代の子供の生活を支える、こうした親子が社会的に孤立し、生活が困窮するなど深刻な社会問題となっている。本市としても、ひきこもりの支援体制を整え、強化する必要があると思うが、この8050問題を解決するために市長はどう考えるか。

答 ひきこもりとなった原因や現在の状況や環境によって、対応する部署が異なるという課題があり、全庁的な意識の統一を図る必要がある。福祉の問題は、時には組織横断的な課題に直面する場合もあるが、決してどこか任せの対応にはせず、解決に向けて全庁的に取り組んでいく。

医療用ウィッグ・乳房補正具購入への助成制度導入

問 女性のがん治療者が就労など日常生活を送る上で、医療用ウィッグや乳房補正具は必要であるが、健康保険の適用外となっている。高額な治療費と併せて経済的な負担となる医療用補正具購入の助成制度を導入する自治体が増えているが、本市でも導入できないか。

答 助成制度は、就労をはじめとする治療前と変わらない社会生活を続ける上で、特に女性が自分らしく生きることを支援する取組と感じている。今後、頑張ってがん治療に向き合っている方々が尊厳を持って自分らしく安心して暮らせる社会の実現に向け、支援を検討するとともに、国や県にも働きかけていく。

自由民主党市議団

古川 祐典（ふるかわ まさのり）

SDGs未来都市

問 SDGsとは持続可能な世界を実現するため、国際社会の総合的な17個の取組である。政府は、SDGsを日本の未来を創る国家戦略の主軸に捉え、オールジャパンで推進しており、地方

創生と持続可能なまちづくりに取り組む自治体をSDGs未来都市とし、本市も県下で初めて先駆的に取り組むまちとして選定された。また、特に地球規模での異常気象、温暖化が叫ばれる中、環境政策をしっかりと加えることで、本市が取り組んでいる事業に対し更に磨きをかけ、その理念である「誰一人取り残さない社会」を目指し、施策を進めていただきたく思うが、SDGsの理念に対する考え、目標達成に向けての取組姿勢はどうか。

答 SDGsの達成に向け各部局間の連携を促進させる。各施策の実施にはSDGsの視点を取り入れ、より事業効果が図れるよう取り組む。持続可能な経済・社会・環境づくりを進める際の共通言語としてSDGsを活用し、官民が連携できる体制を構築し、地域の特性を踏まえた施策に加え、持続可能なまちづくりと地域の活性化を通じて地方創生を実現していきたい。

SDGs（持続可能な開発目標）とは、国連サミットで採択された2030年までの世界共通の目標です。

遠藤（えんどう） 富士雄（ふじお）

国際交流都市和歌山の実現

問 日台交流和歌山市議会議員連盟では、去る11月11日から14日までの間、台湾の台南市及び高雄市を訪問し、台南市政府を表敬訪問するなど国際親善交流を図り、その絆を更に深めてきたところである。

翻って、本市は姉妹都市、友好都市との交流をはじめイタリア、トルコなど台湾以外にも海外交流を深めようとする中、それらの交流が一過性のものとならないよう、もう一歩踏み出し、本市として本格的な国際交流都市を目指してはどうか。

答 現在、国際交流に向けた取組として、少子高齢化の進展と人口減少という状況の中、本市が持続的に発展していくため、これまで築いてきた友好親善交流を基盤に、諸外国との観光・経済交流等を拡充するなど、都市間交流の推進、外国人観光客の誘客拡大、産業の海外展開の3つの柱を中心に海外展開への施策としての国際戦略を進め、海外の活力や成長に向けた取組を積極的に進めてきたところである。

これまでの交流が一過性にならないよう、民間にもその輪を広げ、観光や経済など幅広い分野で継続的な交流や発展が図られる国際交流都市を目指していく。

〈撮影場所〉台南市議会

政和クラブ

山本（やまもと） 宏一（こういち）

逆ヘルプマーク

問 障害者週間の初日である12月3日、和歌山くろしおライオンズクラブが毎年行っているヘルプマークの周知活動に参加し、少しずつではあるが、認知度が上がってきていると感じた。このヘルプマークがいつかは日本発の点字ブロックのように世界基準になればと願っている。

昨年、静岡市の小学校6年生が「逆ヘルプマーク」を発案した。これは「私はお手伝いできます」という意味であり、ヘルプマークの認知度を上げるためにもすばらしいことだと思う。しかし、静岡県がヘルプマークの著作権を持つ東京都に打診したところ、東京都はデザインの変更は認めないと返答し、緑の逆ヘルプマークは今も作成に至っていない。来年、東京都はパラリンピックを主催するが、市長はこの対応をどう思い、どう感じているか。

（左）逆ヘルプマーク、（中央）ヘルプマーク、（右）OKヘルプマーク。※OKヘルプマークは、赤と緑の判別がつきにくい方のために、十字とハートの位置を上下逆にしたものです。

答 静岡県に対する東京都の対応は、詳細がわからないため理解できないが、本市においても、更なるヘルプマークの普及啓発及び逆ヘルプマークの在り方や活用について考えていきたい。

※ヘルプマークとは…外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が周囲に知ってもらうためのマークです。

人口減少対策

問 本市の人口は昭和60年をピークに減少している。本市に多くの人が立ち寄り、喜び、楽しむことでリピーターとなり、又は移り住んでいただくことで、マンパワーの維持、増大を図る必要がある。そのためには、日本一のおもてなしを目指していただきたい。組織改正し、おもてなし検討協議会を立ち上げた以上、目標は必須であり、定住人口、昼間人口、交流人口等がある中、マンパワーを表現するのに最適な交流人口の数値目標を設定してはどうか。

答 観光客や地域への滞在者である交流人口を増加させることは、人口減少による影響を緩和させ、地域に活力をもたらすという意味で非常に重要だと考える。

交流人口について目標を設定し、各施策の効果を図ることは有効であると考えるので、今後、把握方法、目標設定について、他の自治体の動向を踏まえ、適切な目標値の設定ができるよう努めていく。

日本共産党議員団

坂口 多美子（さかぐち たみこ）

介護職員の処遇改善を

問 国の新制度では、一部の介護職員への賃金改善となっているが、全ての介護職員に全産業平均の賃金水準を保障することが介護人材の危機を打開する道だと思うが、市長はどう思うか。

答 低い賃金水準が人材不足につながっており、その是正が必要であることは十分理解している。引き続き国への要望を行っていく。

森下 佐知子（もりした さちこ）

市長の政治姿勢

問 市発注の公共工事の落札額の一部を協力金として詐取し逮捕された連合自治会長の事件は、芦原地区特別対策協議会を背景にしたえせ同和行為にほかならない。第三者機関の設置など根本的な原因解明を求める。

答 第三者機関の設置は考えていない。今後協議会と交渉はせず、全体の奉仕者として、きぜんと対応する。

中村 朝人（なかむら あさと）

学童保育／平和問題

説明会の規模が不十分な点や指導員の処遇改善対策が明確になっていない点など、子供たちの生活の場として整備されてきた学童保育に真摯に向き合う姿勢が見られないため、一層熟考するよう求めた。

また、ヒバクシャ国際署名への署名や平和事業の充実、被爆者健康手帳の周知を求めた。

井本 有一（いもと ゆういち）

改良住宅の公募

同和対策事業特別措置法が終結したにも関わらず、改良住宅の約300戸が空き家になっているため、市の条例に沿って、一般公募するよう要望した。

特殊清掃に伴う粗大ごみの収集

孤独死などの現場における特殊清掃から出される粗大ごみについて、迅速な収集ができるよう求めた。

姫田 高宏（ひめだ たかひろ）

南港山東線・塩屋に信号を

問 南港山東線の塩屋3丁目と2丁目を結ぶ付近に点滅信号を設置してほしいという声があるが、市はどのように考えているのか。

答 市管理時に地元要望があり、警察と協議を重ねてきたが設置に至っていない。現在県道となり南インターチェンジも開通し、交通量も増えるなど交通状況も変わってきているので、再度、県及び警察に要望する。

民主クラブ

山本 忠相（やまもと ただすけ）

子供の救急医療相談

問 子供の救急医療体制に対するアンケート調査では、「子ども救急相談ダイヤルや救急医療情報センターに電話がすぐつながらない」など、15・5％の方が「やや不十分」「不十分」と答えている。スタッフの配置など工夫も必要だが、一回の電話で対処できなければ、親の不安は打ち消せない。一回の電話で救急相談と医療機関の情報が得られるような仕組みづくりが必要だと考える。

総務省は、ダイヤル「#7119」救急安心センター事業の全国展開を重点施策としている。これは、電話で医師や看護師などが対応し、病気やけがの状況把握、緊急性の判断を行い、応急手当の方法、医療機関などについて助言や案内を行い、

緊急性が高い場合は、直ちに救急車を出動させる体制を整えるものです。

本市においても、ダイヤル「#7119」事業の実施、または独自のワンストップシステムを導入してはどうか。

答 救急相談と医療機関を案内するダイヤルが別々に設置されていることは市民にとって、どちらにダイヤルすればいいのか、迷いや不安の原因となっている。ダイヤル「#7119」事業は、市民の不安を解消し、安心をもたらすシステムだが、#7119の番号が県で一つとなっていること、医師・看護師の確保や運営費など、本市単独では難しく、県単位の導入が望ましいと考える。県全体の枠組みで実施してもらえるよう、県への働きかけや県下消防本部と連携しながら、運営方法や経費などを検討、研究していく。

滞納処分と市民生活の再建

市税などの滞納処分により生活が壊されないよう、滞納者のつまずきがどこにあるのか「我が事」として考え、ともに解決していくために「丸ごと」受け止めることが、まさに市役所の目指すべき姿だと質した。

和歌山興志クラブ

よしもと まさずみ
吉本 昌純

高齢者の健康づくり

問 市内モデル地区を選定し、その地区の自治会館や公民館を仮称「健康長寿ホットステーション」と位置づけ、理学療法士、健康運動指導士といったプロの指導者を巡回配置し、健康長寿のために取り組んではどうか。

答 今後工夫し、健康づくり事業の充実発展を図っていく。

子育て支援

問 発達障害、発達遅延等、気になる子供たちの保育、教育の質を高めるため、指導する人材確保のための予算を拡充してはどうか。

答 各発達段階において、子供たちの確かな成長を支え、未来に大きく羽ばたけるよう、全ての子供たちへの投資をより一層拡充させていく。

おざき まさや
尾﨑 方哉

産業振興／まちづくり／防災対策

①南インターチェンジ周辺の企業誘致の状況と分析②北インターチェンジ進入路信号機及び直川45号線の改良③砂山・今福まちづくりの評価④国土交通省跡地におけるコミュニティセンターの建設⑤今福神前線を生かした環状ルートでのバス路線運行⑥狭あい道路対策としての先行整備⑦市道今福12号線の拡幅⑧都市計画道路雄湊高松線の早期着手⑨ほうらい荘跡地の活用⑩水軒川・築地川における津波・高潮対策⑪築港地区内における津波避難用高台の確保⑫所有者不明の橋梁の安全対策など、現在取り組んでいる政策にもうひと工夫、また付け加えるべきことを提案し、一方でいまだ成果の出ていない政策への対応策について質した。

日本維新の会

なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

中学校給食アンケート調査の進捗状況

問 全員給食について、市民の方からは否定的な意見はなく、「デリバリー給食の量が少ない・おいしくない」など、むしろ切望されている意見が多い。9月定例会において、アンケート調査を実施するとの答弁だったが、その進捗状況はどうなっているのか。また、アンケート調査の回収・集計作業はいつ完了するのか。

答 令和元年11月にデリバリー給食を実施している中学校16校において、1・2年生の生徒とその保護者を対象にアンケート調査を行った。現在、アンケートを回収し集計作業に取り掛かったところであり、今年度中には、取りまとめる予定である。

声の市議会だより
（市議会だよりの音声版）

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより（市議会だよりの音声版）を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務 委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第4号、**和歌山市職員給与条例等の一部を改正**する条例の制定について。これは、令和元年10月15日に和歌山市人事委員会が行った職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、給料表の引上げ及び勤勉手当支給率の引上げを行うものです。

議案第5号、**和歌山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、和歌山市人事委員会の勧告に基づく常勤職員の給料表の引上げに鑑み、会計年度任用職員の給料表の引上げ改定を行うものです。

議案第6号、**和歌山市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、和歌山市人事委員会の勧告に基づく一般職の職員の勤勉手当の支給率の引上げに鑑み、和歌山市議会議員の期末手当の支給率の引上げを行うものです。

議案第7号、**和歌山市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、博物館法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、博物館に関する事務について、条例で定めることにより市長の権限とすることができるようになったことに伴い、当該事務を市長が管理し、執行するため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、令和元年度災害警戒本部設置状況について、大規模津波防災総合訓練の実施結果について、市民図書館の跡地活用（専門職大学の設置）について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

防災訓練実施イメージ

厚生 委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算（第4号）中、**西庄ふれあいの郷管理運営事業**8842万円について。これは、西庄ふれあいの郷の指定管理業務委託を行うものです。

児童養護施設管理運営事業5億2737万6千円について。これは、旭学園の指定管理業務委託を行うものです。

議案第9号、**和歌山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律により、災害援護資金貸付金に係る償還免除の対象範囲の拡大や、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する調査審議を行う機関を市町村は設置するよう努めるなどの改正があったため、所要の改正を行うものです。

議案第10号、**和歌山市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係る地域生活支援事業に関する条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、移動支援事業において、提供者1人で複数人のサービス利用者に対して同時に支援することを可能にするため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、第4次和歌山市地域福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施、第二期子ども・子育て支援事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施、こども総合支援センターの移転、和歌山市の環境（平成30年度報告）、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

委員会の模様をインターネットで配信しています!
QRコードから録画中継がご覧いただけます。

経済文教 委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、議案第12号、和歌山城ホール条例の制定については、委員から議案に対する修正案が提出され、修正可決すべきものと、その他の議案4件については可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、**文化的風土の醸成事業**8231万3千円について。これは、有吉佐和子邸の復元に向けて、市駅前原動機付自転車駐車場の解体撤去工事を行うものです。

和歌山城公園動物園管理運営事業5686万8千円について。これは、和歌山城公園動物園の管理運営を委託するものです。

東部コミュニティセンター駐車場改修事業1億4997万4千円について。これは、東部コミュニティセンター駐車場について、改修を行うものです。

議案第12号、**和歌山城ホール条例の制定**について。これは、和歌山城ホールの設置及び管理に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

議案第23号、**指定管理者の指定**について。これは、和歌山城天守閣及び和歌山城公園駐車場の管理を公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団に指定するものです。

なお、審査過程において、有吉佐和子邸の復元建設設計等に係る検討状況、博物館基本計画の策定状況、第32回全国健康福祉祭「ねんりんピック紀の国わかやま2019」の開催結果、「道の駅四季の郷公園」のオープン延期、卸売市場法改正に伴う本市場業務条例の一部改正、中央卸売市場の南用地、令和元年度附属機関の会議の開催、新和歌山市民図書館の一部業務開始、新和歌山市民図書館の一部業務開始に伴う組織改正について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

和歌山城ホールに名称が決まった新市民会館イメージ図

建設企業 委員会

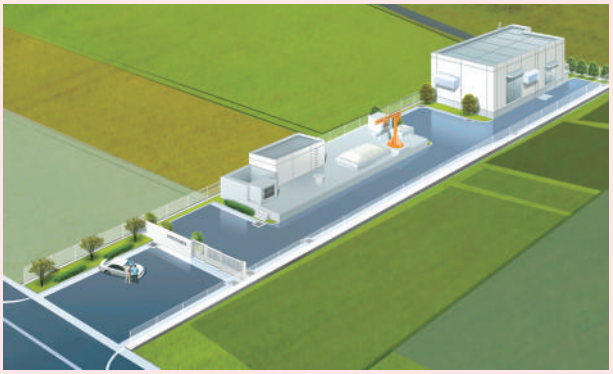
当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、**和歌山市消防活動センター整備事業**11億3551万3千円及び令和2年度までの期間とする債務負担行為の補正について。これは、南インターチェンジ隣接地に、大規模災害時の緊急消防援助隊活動拠点並びに、消防岡崎出張所の移設を行うために要する整備工事請負費です。

南インターチェンジに隣接する消防活動センター

議案第13号、**和歌山市営住宅条例の一部を改正**する条例の制定について。これは、現在、建替事業を実施している岡崎団地については、完成した新1号棟の入居者の住み替えが令和元年12月までに終了する見込みであり、旧棟については用途廃止するため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、和田川雨水地下貯留施設、和歌山市駅前広場整備、社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画の第5回変更について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。


和田川流域浸水対策の雨水地下貯留施設ポンプ場

委員会調査活動報告

総務委員会

総務委員会では、鯖江市、富山市で調査を行いました。

鯖江市では、行政が保有する様々な情報を市民が2次利用しやすいデータ形式で公表していくオープンデータと呼ばれる取組を調査しました。富山市では、まちの魅力を発見・再確認し、市内外へ積極的に発信していくことで交流・定住人口の増加を目指すシティプロモーションと呼ばれる取組を調査しました。

富山市での行政視察の様子

厚生委員会

厚生委員会では、宇部市、別府市で調査を行いました。

宇部市では、ひきこもり本人等を支援するため、看護師等の専門職及びひきこもりサポーターが連携して実施しているひきこもり相談支援の取組を調査しました。別府市では、「死亡」に係る届出書を一括作成することで、手続の必要な課の選別や関係課の受付時間短縮を可能とした「おくやみコーナー」を調査しました。

別府市での行政視察の様子

議員連盟活動レポート Vol.13

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟は、会長の山本（宏）議員はじめ、丹羽議員、堀議員、中谷議員、浜田議員、園内議員、坂口議員の役員が主となり、紀の川の治水効果を確保するため、新六箇井堰の全撤去等の諸整備が早期に実施されるよう活動しています。今回は赤羽国土交通大臣との面談も実現し、国土交通省、財務省及び関係国会議員に要望活動を行いました。

議員連盟活動レポート Vol.14

京奈和・第二阪和連絡道路建設促進和歌山市議会議員連盟は、会長の宇治田議員はじめ、山本（宏）議員、中村（元）議員、園内議員、南畑議員、中塚議員の役員が主となって、京奈和自動車道と第二阪和国道をつなぐ連絡道路が早期に事業化されるよう活動しています。今回は赤羽国土交通大臣との面談や、国土交通省及び関係国会議員に対し、要望活動を行いました。

議員連盟活動レポート Vol.15

スポーツ振興和歌山市議会議員連盟、和歌山市、日本トップリーグ連携機構の共催イベント「SOMPOボールゲームフェスタin和歌山」を12月14日に開催しました。和歌山で初開催となるこのイベントでは、元ラグビー日本代表選手の大西将太郎氏をはじめとするトップアスリートによる指導のもと、約180名の子供たちにボールゲームの楽しさを体験していただきました。

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】西風 章世　【副委員長】丹羽 直子

【委員】中村 朝人　赤松 良寛　山中 敏生
川端 康史　山野 麻衣子　坂口 多美子
薮 浩昭　古川 祐典　北野 均
佐伯 誠章

※令和元年5月27日選任

〒640-8511
和歌山市七番丁23番地
和歌山市議会広報委員会 宛
TEL：432-0022（議会事務局）
FAX：424-9276
Mail：gikaidayori@city.wakayama.lg.jp

和歌山市議会ホームページ　和歌山市議会　検索
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/

発行／和歌山市議会
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 TEL.432-0022 FAX.424-9276
編集／和歌山市議会広報委員会

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK